

# 昭和59年度普及区域指導計画

都道府県名 沖繩県  
 専門技術員室名称 沖繩県漁業者センター専技室  
 普及区域 県下一円

事業区分	課題	実施時間	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	1. 沿岸漁業改善資金運用事業(調査指導)	7月、10月 1月	漁業者センター	沿岸漁業者	農改普及所 漁協、市町村	沖繩県沿岸漁業改善資金運営協議会	沿岸漁業改善資金助成事業
	2. 漁業後継者対策事業(学習会、巡回指導)	4月～ 3月	3普及地区	漁協青年部	漁協、市町村	漁村青少年協議会(3普及担当区)	
	3. 漁業一般研修(改良普及員研究グループ)	4月～ 3月	漁業者センター 宮古地区 八重山地区	改良普及員 研究グループ 漁協青年部 漁業者	専門技術員 市町村、漁協	(1) ウニの移植放流と漁場管理について (2) モズクの芽落と水温の関係について (3) モズク盤状体の冷蔵保存について (4) 曳縄釣漁業技術の改善 (5) レンコカゴ漁業技術について (6) 釣漁具漁法の指導 (7) ヒトエグサ天然採苗と養殖技術について	沿岸整備開発事業
	4. 漁業青年壮年婦人活動実績発表大会	11月	那覇市	漁協青年部 漁協婦人部 研究グループ	県漁連 漁業者センター 市町村、漁協	3普及地区選出(実績資料の検討)	

事業区分	課長	実施時間	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
	5. 普及連絡会議の開催	5月 9月 2月	セントア 宮石川	普及職員		普及活動の計画及び実績について定期的に検討を行い併せて、情報交換を行うことにより効率的な普及活動を展開する。	水産業改良普及事業
	6. 普及資料及び広報の発行（セントア一通信）	5月 } 3回 9月 } 1月 }	セントア	漁協青年部 研究グループ	漁協・市町村	普及活動の一環として、普及広報及び指導資料を配布する。又、中学生を対象とした沖繩県の沿岸漁業のパンプレットを作成する。	漁業後継者対策事業
企画事業	7. 婦人農業従事者広域セミナー	1月	宮古	漁協婦人部 生改グループ	宮農指導課 市町村、漁協	前年同様	婦人農業従事者セミナー開催
	8. 漁家生活改善推進協議会	11月	那覇	漁協婦人部 市町村、漁協 生改グループ	宮農指導課 農改普及所 市町村、漁協	前年同様	漁村生活改善推進事業実施要領
	1. 沿岸漁場整備事業（人工魚礁の利 用効果調査）	随時	3普及地区	漁業者 研究グループ	水産振興課 水産試験場 漁業者センター 漁協	普及担当区巡回指導の中で魚礁の設置場所及びその利用効果調査して沿整事業に役立てる。（漁業者の協力を得て実施する。）	魚礁設置事業
	2. 業態別漁業経営の実態調査指導	4月～ 3月	各漁協	漁業者	市町村、漁協	漁業種別の経営状態を調査し合理的な操業形態の確立を図るための指導指針とする。	
調査事業	3. 改善資金需要調査	4月～ 3月	3普及地区	漁業者	漁協、市町村 農改普及所	改善資金需要を長期的観点から調査し資金運用と普及事業の連けいを図る。	

事業区分	課題	実施時間	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
調査事業	4. 漁場利用調査（主にオゴノリについて）	4月～3月	糸満	漁協青年部 生産グループ	漁協市町村	糸満市の瀬長から潮平にかけては昔からオゴノリの生育地として、知られているが、近年乱獲や埋め立て工事等で資源の減少がいちぢるしい。漁場調査を実施し生育地の回復を図る。方法としては、種石移植を試みたい。	
	5. 移動相談所の開設	4月～3月	伊是名、伊平屋、伊江村	漁業者	漁協、市町村	普及活動を円滑に推進するためには、現場の総合的な実態の把握が基礎となる。そこで今回から新たに移動相談所を開設して、地域のニーズに答えるべく、①行政、②試験研究、③普及の三者による地域巡回相談を試みたい。	
試験事業	1. 曳縄釣漁業試験	4月～8月	糸満	漁業者	漁協青年部	技術改良試験で得られた成果を実証事業へ展開する前の予備試験として実施したい。	
	2. カゴ網漁業試験	5月～10月	伊江、糸満	漁業者 研究グループ	漁協、市町村	レンコカゴ網の改良と漁期漁場の調査指導。（実証事業への展開2年目）	
	3. モズク冷蔵網による養殖試験	6月～3月	本部 漁業者センター	生産グループ 研究グループ	水産試験場 漁協、市町村	盤状体の冷蔵保存技術の確立により、早期採苗も可能になったが漁場への計画的な張り込み作業が種保存のみでは十分でなく、さらに芽落ちに伴なう予備網の確保が必要であり、その試みとして実施したい。	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
普及改良 研修事業	普及員一般研修	4月～3月	3普及地区	改良普及員	専門技術員	普及活動計画樹立にあたっての考え方と普及活動方法	
	各種研究会、学習会等による資質の向上	4月～3月	3普及地区	漁協青年部 婦人部 研究グループ 漁業者	漁業者セクター 水産試験場 市町村、漁協	(1) 漁労日誌の記帳と必要性 (2) 複合経営の必要性と組合せ (3) 無給餌養殖とその利用	
指導事業	1. 漁業増養殖技術指導	4月～3月	3普及地区	漁業者 研究グループ 漁協青年部 婦人部	専門技術員 改良普及員 市町村、漁協	(1) パヤオ周辺における曳縄漁業とその改良 (2) モズク養殖場の適正化と芽落原因の解明 (3) 芽落に伴なう採苗水温についての検討(モズク)	
	2. 目的グループの指導					(4) ウニの移殖放流と漁場管理 (5) クビレツタの増養殖指導 (6) 漁協青年部の指導強化 (7) 漁業日誌記帳指導	
	3. 宮漁指導					(8) ヒトエグサ、ヒジキ、イバラノリ 増養殖指導	

# 昭和59年度普及区域指導計画

都道府県名

沖縄県

改良普及員室名称

県漁業者センター水産業改良普及室

普及区域

沖縄本島地区

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	・ 漁業後継者対策事業	4月～3月	普及地区	漁村青少年	漁協、市町村青年部、団体学識経験者	・ 漁業担い手である漁村青壮年部研究グループ等の組織を強化し、学習会及び交流活動を通じ、漁業者の資質向上を図る。 ・ 事業計画の検討、事業の指導、貸付後の運用調査を行ない普及事業との連携を図る。	沿岸漁業改善資金助成事業 労働力対策事業
	・ 沿岸漁業改善資金運用事業	6月～3月	普及地区	漁業者	漁協、市町村	・ 漁船運航（航海、機関、無線）に関する技術修練事業を委託し、地域漁業者の技術の向上と漁業の安全を期す。 (受講者40名予定)	
	・ 漁船技術修練会	11月	県下	漁業者			
調査事業	・ 漁業公害調査	4月～3月	国頭村 外11地区		漁協、水碓市町村	・ 海浜汚染状況調査（赤土） ・ 海岸観測（測定調査）	漁業公害対策指導事業
	・ 漁場調査	4月～3月	担当地区	生産グループ	漁協、市町村	・ モズク、ヒトエグサ、ヒジキ、イバラノリ漁場調査 従来通り時期的な生産活動の中で必要に応じて、同調査を実施する。	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
調査事業		4月～3月	糸満市 伊是那村 与那原町	研究グループ	漁協、市町村	。パイ目の漁場調査 効果的な移植放流を実施するために 移植前後の調査を実施する。 。シラヒゲウニの生息漁場調査 年々、減少しているシラヒゲウニの 漁場及び資源を調査把握し、今後の 増養殖に役立てる。	
		4月～3月	読谷村	漁業者	漁協、水試 市町	。シラヒゲウニの養殖経営調査	
		4月～3月	名護市 大宜味村	研究グループ 漁業者	漁協、市町村	。魚類養殖経営調査	
	。魚礁調査（協力）	5月～3月	糸満市 外4地区	漁業者	漁協、水試 市町	。魚礁利用効果調査を行ない啓もう指 導にあたる。	沿岸漁場整備開発事 業
研修事業	。普及員一般研修	5月	漁業者センター	普及員		。専門技術員による行政一般及び専門 事項について研修	
	。普及員行政研修	10月	東京都	普及員		。昭和59年度水産業改良普及職員行政 研修会に出席	
	。特別研修	6月	長崎県	青年部	長崎県普及所	。長崎県野母崎町へレンコダイ、キダ イ等の魚種の開拓に向け、レンコ網 漁業導入の乗船研修。 (8日間、1名)	
	。漁業技術研修会	4月～3月	名護市	研究グループ	漁協、市町村	。イバラノリの養殖についての講習会 復合経営への転換の試みとして、定 置網漁業との組み合わせを実施した い。(モデルケース)	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
研修事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業技術研修会</li> <li>学習事業</li> <li>技術交流事業</li> </ul>	6月～3月	担当地区	生産グループ	漁協、市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>モズクの冷蔵保存についての講習会 伊是名漁協での成果をふまえて、種シートのよる冷蔵保存の普及を図る。</li> <li>中興曳縄漁業についての学習会 58年度専技の技術改良試験の成果をふまえ、普及を図る。</li> <li>魚の鮮度の保持と流通について</li> <li>漁場管理と漁協について</li> <li>トビロープ曳漁業について</li> <li>浮魚礁（パヤオ）について</li> </ul>	
		6月～11月	糸満市 外3地区	青壮年	漁協、市町村		
		9月	恩納村	漁業者	漁協、市町村		
		2月	本部町	漁業者	漁協、市町村		
		6月	糸満市	漁業者	漁協、市町村		
		7月	平良市	漁業者	漁協、市町村		
試験事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>イバラノリの養殖試験</li> <li>モズク冷蔵網による養殖試験</li> <li>レンコ籠網実証試験（新技術実証事業）</li> </ul>	4月～9月	名護市	生産グループ	漁協、市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>インシュロックタイによる結着方法と合せて、藻体採苗及び散布採苗による養殖への展開を図る。</li> <li>種シートによる盤状体の冷蔵保存が確立されたので59年度は直接網に種付をし、必要に応じて冷蔵庫から出庫し養殖をするといった冷蔵網の技術開発。</li> </ul>	
		6月～3月	伊平屋村 伊是名村 伊江村 伊本部町	研究グループ	漁協、市町村		
		6月～10月	糸満市	漁業者	漁協、水試市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和58年の実証試験で水深200m～250mの範囲で籠にチダイが漁獲されたことと、また漁期外であったが湾内でイトヨリの入網が確認されたので、漁場及び漁期の把握に努め、漁具の一部である幹縄を10mmから8mm、枝縄8mmから6mmに改良し、漁具を軽量化して操業回数を増すことによつて漁獲の増大を図る。</li> </ul>	漁家経営の安定

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
試験事業	。魚類養殖試験	4月～3月	大宜味村	地域グループ	漁協、市町村	。脱脂米糠餌料の利用による魚種別及び成長効果についての養殖試験 。陸草（アマクサギ）利用によるシラヒゲウニの身入り効果についての試験	
	。ウニ養殖試験	4月～3月					
指導事業	。巡回指導	4月～3月	管内区域	後継者	漁協、市町村	。青少年協議会及び漁協青壮年部研究グループの運営指導と漁村青少年の意向把握 。沖繩の水産業の動向について 。海図の見方と沿岸航法について 。沖繩の漁業と流通について 。八重山の風土と歴史について 。栽培漁業と種苗生産について 。資源管理型漁業について 。養殖と漁業の組合せについて 。中学生を対象に水産の初歩的学習の開催（6日間、30人予定）	
	。青年水産教室	5月	那覇市	漁業者	漁協、市町村		
		7月	石川市	漁業者	漁協、市町村		
		10月	石垣市	漁業者	漁協、市町村		
		12月	名護市	漁業者	漁協、水試		
		3月	知念村	漁業者	市町村		
	。少年水産教室	8月	漁業者センター	中学生	漁協、市町村		
					水産高校 漁業振興基金		
	。漁村青壮年婦人活動実績発表大会	11月	那覇市	青壮年婦人部 研究グループ	漁協、市町村 関係機関		。学習会及び技術交流で得た成果を研究発表、技術交換等の討議の場として実績発表大会を開催。 。オキナワモズクの養殖指導主に芽落ち対策（水温と芽落ちの関係及び採苗水温との関係）
			12月～3月	担当地区	生産グループ	漁協、市町村	



事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
		4月～3月	担当地区	生産グループ	漁協、市町村	。イバラノリ、ヒトエグサ、ヒジキの増養殖指導	
		4月～3月	大宜味村	地域グループ	漁協、市町村	。魚類養殖指導	
		4月～11月	読谷村 外3地区	研究グループ	漁協、市町村	。ウニの養殖指導	
		5月～10月	糸満市 外3地区	青壮年部	漁協、市町村	。曳縄釣漁具・漁法の指導	

# 昭和59年度普及区域指導計画

都道府県名 沖縄県  
 改良普及室名称 宮古支庁農林水産課  
 普及区域 宮古地区

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	1 宮古地区漁村青少年協議会	5月 10月 2月	平良市 伊良部町 平良市	後継者	漁市町 協村	1 事業計画の検討実施（年3回）	漁業後継者対策事業
	2 沖縄県沿岸漁業改善資金の運用事業	4月～ 3月	管内区域	漁業者	漁市町 協村	1 資金制度の運営について協力。需要調整、申請等の検討手続の指導、事業実施後の調査指導	沿岸漁業改善資金助成事業
調査事業	1 漁業公害調査	4月～ 3月	平良市 (真謝)		漁市町 協村	1 海浜状況観測指導及び水温測定	漁業公害対策指導事業
	2 魚礁の効果調査	4月～ 3月	来間、池間、伊良部、下地、島野、高野	漁業者	水専 試技	1 漁業者への魚礁の位置指導並びに魚礁効果調査（協力）	継続調査
研修事業	1 水産業改良普及員一般研修	7月	センター	普及員	技専	1 担当区普及活動の状況報告と業務全般について情報交換活動の円滑を図る。	水産業改良普及員研修実施基準
						2 専門技術員による行政一般、並びに専門の事項について広く知識を深め、地域漁業者の指導に当る。	

事業区分	課 題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
	クビレレジタ養殖指導	4月～3月	下地良町	漁業者	漁市 協村	。適産種として地域特産物（海ぶどう）の生産増大を図るため養殖技術の指導を行う。	
	底魚、一本釣漁具漁法の普及指導	4月～3月	管内全域	漁業者	”	。底魚一本釣、漁具、漁法の普及指導	
指導事業	オキナワモズクの養殖指導	4月～3月	”	後継者 研究グループ	”	。オキナワモズクの品質管理並びに加工処理技術指導	
	沿岸漁業改善資金の活用並びに調査指導	4月～3月	管内全域	漁業者	漁市 農専 協村 改技	。経営等改善資金による導入機器の効果並びに経営指導	沿岸漁業改善資金助成法

# 昭和59年度普及区域指導計画

都道府県名 沖縄県  
 改良普及員室名称 八重山支庁農林水産課  
 普及区域 八重山地区

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	漁業後継者対策事業	4月～3月	八重山地区	漁村青少年	漁市町協	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁協青年部活動を強化し、学習会、交流会等を活発に行ない、後継者の資質向上を図る。</li> </ul>	沿岸漁業改善資金助成事業
	沿岸漁業改善資金運用事業	4月～3月	"	漁業者	"	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金需用状況調査、申請手続指導、事業実施後の運用状況等を調べ、普及活動につなぎ活用する。</li> </ul>	
調査事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業公害調査</li> </ul>	4月～3月	石垣市 白保その他	漁業者	漁市保他	<ul style="list-style-type: none"> <li>海浜状況調査指導及び水質測定</li> </ul>	漁場油濁被害救済基金
	<ul style="list-style-type: none"> <li>浮魚礁利用状況調査</li> </ul>	4月～3月	石垣市 与那国	漁業者	漁水	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業日誌記帳指導、曳縄操業試験</li> </ul>	水産業奨励補助事業
	<ul style="list-style-type: none"> <li>シヤッコ貝放流及び調査</li> </ul>	4月～3月	石垣市 登野城小浜地先	"	試	<ul style="list-style-type: none"> <li>水試と協力し、放流後の生残状況、成長を調べ、結果を漁業者に報告する。</li> <li>研究グループの育成を図り、放流作業を通し、資源保護、管理意識の高揚を図る。</li> </ul>	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
研修事業	水産業改良普及員一般研修	9月～12月	漁業者センター	普及員	専 枝	。普及事業、一般行政及び専門的知識等について指導助言の提供が実施される。 。トビロープ漁法の習得	水産業改良普及員研修実施基準
	技術交流会	5月	久米島	漁業者	漁業者センター 漁 協		
指導事業	少年水産教室	8月	漁業者センター	漁村子弟	漁 市	。漁村の子弟に漁業に関する知識、技術について学習させ、漁業の役割についての理解を図る。	
	青年水産教室	12月	石垣市	研究グループ	“	。八重山の風土と歴史について	
	漁村青壮年婦人活動実績発表大会	11月	石垣市	漁業者	漁 連 漁 市	。漁村青壮年婦人の自主的な研究実績を発表させることにより相互の知識の交流を図る。	
	ヒトエグサ養殖指導	9月～3月	石垣市	研究グループ	石垣市 漁 協	。採苗時期、位置、養殖管理について指導 。洗浄、乾燥方法指導及び販売開拓	